

まちぶせ

本調子

尺	きゆう
老	
尺	に
六	な
尺	ぜ
工	か
中	
中	
工	き
工	れ
五	い
六	に

七	なっ
乙	
乙	
八	た
五	の
六	は
合	
合	
六	あ
六	な
七	た
八	と

九	こ
乙	
七	ん
五	な
九	ふう
八	に
老	
六	あ
七	っ
六	て
五	る
工	か
尺	ら

工	な
尺	の
中	ね
五	
五	
五	
中	
八	な
六	た
合	
合	
九	む
尺	ね
尺	の

仂	っ
乙	
仂	た
尺	の
八	よ
六	あ
八	な
六	た
合	
合	
九	む
尺	ね
仂	の

伍	お
伍	く
仂	で
尺	ず
九	っ
尺	と
老	
六	も
九	う
尺	す

仂	ぐ
乙	
仂	わ
尺	た
八	し
六	き
八	っ
六	と
合	
合	
九	あ
尺	な
仂	た

伍	を
伍	ふ
仂	り
尺	む
九	か
八	せ
九	る
中	
中	
六	き
六	の
五	な
工	い

まちぶせ

本調子

尺	そ
老	
尺	ぶ
六	り
尺	し
工	て
中	
中	
工	な
工	か
五	ま
六	に

七	
乙	
七	
八	
五	
六	
合	
六	
六	
六	
七	
八	

九	く
乙	
七	わ
五	わ
九	っ
八	た
老	
六	
七	
六	て
五	い
工	ぶ
尺	る

工	を
尺	
中	
五	は
五	さ
五	ん
五	で
中	
六	あ
合	な
合	た
九	を
九	あ
尺	っ

仟	く
乙	み
乙	た
仟	
尺	
八	
六	
八	
六	
合	
合	
九	す
尺	き
仟	だ

伍	っ
伍	
伍	
仟	た
尺	の
九	よ
尺	あ
老	な
老	た
六	む
九	ね
尺	の

仟	お
乙	く
仟	で
尺	ず
八	っ
六	と
八	
六	
合	
合	
九	も
尺	う
仟	す

伍	ぐ
伍	
仟	
尺	わ
九	た
八	し
九	き
中	
中	っ
中	と
中	
中	
六	あ
九	な
尺	た

まちぶせ

本調子

伍	を
	ふ
乙	り
伍	む
尺	か
	せ
六	る
八	
六	
合	
合	
九	す
尺	き
伍	だ

伍	つ
伍	
伍	た
尺	の
	よ
尺	あ
老	
	な
	た
老	
尺	
六	む
九	ね
尺	の

伍	お
乙	く
伍	で
尺	ず
	つ
六	と
八	
六	
合	
合	
九	も
尺	う
伍	す

伍	ぐ
伍	
伍	
尺	わ
九	た
八	し
九	き
中	
	つ
	と
中	
中	
六	あ
九	な
尺	た

伍	を
伍	ふ
伍	り
尺	む
九	か
八	せ
九	る
中	
中	
	あ
合	な
合	た

中	を
	ふ
	り
乙	む
六	か
	せ
五	
尺	る
上	
上	
中	
六	
上	

中	
乙	
工	
尺	
上	
六	
上	
中	
六	
上	

工	
乙	
尺	
六	
八	
八	
六	
工	
中	
尺	
工	
五	

好きだったのよあなた 胸の奥でず
つと

もうすぐ**また**お**ぶ**せ あなたをふ
りむかせる

好きだったのよあなた 胸の奥でず
つと

もうすぐわたしきつと あなたをふ
一、夕暮おめ角のぞいた喫茶店

微笑み見ふめおか甘見覚えある二人

あの娘が急になぜか きれいになつ
たのは

あなたとこんなふうに 会ってるか
らなのね

好きだったのよあなた 胸の奥でず
つと

もうすぐわたしきつと あなたをふ
りむかせる

気のないそぶりして 仲間に加わつ
た

テーブルをはさんで あなたを熱く
見た

あの娘がふられたと 噂にきいたけ
ど

わたしは自分から 云いよったりし
ない

別の人 gave ラヴ・レター見せ
たり